

2024年度

審判育成・強化方針

2024年度重点事項

2031年（令和13年）国民スポーツ大会奈良県開催
に向けての審判員の強化・育成・普及

奈良県の現状（2023年度）

ライセンス	合計	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代
S	2	2					2		
A	4	3	1		1	1	1	1	
B	72	58	14	0	25	32	12	3	
C	91	79	12	5	18	30	23	9	6
D	65	53	12	4	17	20	13	10	1
合計	234	195	39						

単位：人

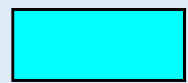
(1) 上級審判員の輩出

(2) B級審判員全体の育成

(1) 上級審判員の輩出

○2024年度のA級審査は、

各府県から2名＋女性枠1名＋U25枠1名の最大4名が推薦される。
近畿高校総体がA級1次審査となる。



国スポに向けて強化、派遣の中心になってくる層。

トップリーグを目指す層。

→7年後の国スポのコート、上級審判員としてトップリーグの
コートを目指す。

各カテゴリーから推薦された「**ブロック担当審判員**」を強化
していく。この中から「A級候補」を推薦する。

(1) 上級審判員の輩出

ブロック担当審判員の上半期スケジュール

○IH予選（5月26日・6月1日・2日）

○社会人総合選手権（6月16日）※近畿ブロックからIR派遣

○天皇杯皇后杯（7月15日）※近畿ブロックからIR派遣

○成年男子練習試合などで研修会（8月ごろ）



○3POメカニクス、ルールの勉強会（定期的に）

※担当：1・2級IR、県上級審判員、近畿ブロックからIRを派遣

(2) B級審判員全体の育成

- 7年後の国スポで、そのゲームを担当できるB級が必要。
- 各カテゴリーの準決勝以上・順位決定で、C級を割り当てなければならない場合がある。
- 他カテゴリーの大会、3X3、県外、ブロック大会、関西学生などへ参加するB級審判が少ない。

(2) B級審判員全体の育成

  県内各カテゴリーの上位ゲームを担当する層。
国スポ派遣される層。

→県内B級全体を強化、最新のルールやライセンスに必要な
審判技術等の確認をする

各カテゴリーで行われるJBA公認B級審判更新講習会や
研修会で強化・育成

※担当：1・2・3級IR、県上級審判員、各カテゴリー長

(2) B級審判員全体の育成

各カテゴリーで行われる J B A 公認 B 級審判更新講習会

○U1 2 (5月18日)

○U1 5 (7月28日)

○U1 8 (5月26日・6月1日)

○社会人 (5月19日)

※担当：1・2級IR、県上級審判員からIRを派遣